

# 本会は、学校の活動を支援する「地域につくられた学校の応援団」である。

## 宮崎県都城市

活動名

山田中学校支援ボランティアの会  
(学校支援地域本部)

関係する学校

山田中学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
		6人	32人	25年度	無
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
		2人	60人	25年度	無
放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無	
	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	
	平成25年4月1日	12人	245人	10学級	

### 活動の概要

活動については、平成18年度の発足当初より主に地域のボランティア活動に尽力しており、現在では環境整備、学校行事への参加、ゲストティチャーとしての授業への協力、福祉教育体験活動や学習支援など幅広い活動を年間通じて積極的に行っている。

活動の根底には、明治35年に秋田県潟上市より訪れ、無償で農業指導などのボランティア活動を行った、石川理紀之助の考え「まず自分から何事もやれ、自分でやらないで、人にやらせてはいけない」という精神に基づき活動している。

また、「十五夜祭り」などの地域行事への参画について小中学生に働きかけを行っている。特に郷土芸能である「山田音頭」においては、中学生が積極的に関わることで「地域と共にある学校づくり」の推進に寄与している。

- ・キャリア教育へのサポート(疑似体験活動・福祉施設訪問・職場体験学習) 6月・7月・9月・10月
- ・かかし笑劇団の公演(ボランティア活動への意識づけ) 5月
- ・教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の授業支援(年間)
- ・サマースクール学習支援サポート(7月～8月)
- ・土曜講座(学習支援) 11月～
- ・山田中ボランティアマスターへの支援・指導(年間)

## 特徴

### 【特徴的な活動内容】

- 総合的な学習の時間を活用したキャリア教育へのサポート(ボランティア学習会・疑似体験活動・福祉施設訪問・職場体験学習・よのなか科への授業参加・面接指導支援)
- ボランティア活動への意識付けをするために、山田地区にある「かかし笑劇団」の公演参加(生徒・教職員)
- 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の授業支援(ゲストティチャー)
- 学習支援サポート(土曜学習会における補充学習支援・サマースクール支援)
- 学校行事への参画(体育大会・文化祭・駅伝マラソン大会・立志式・愛校作業)
- 秋田県潟上市小中学校との学校間交流活動の推進

### 【実施に当たっての工夫】

- 学校運営協議会の充実を図るとともに、学校支援ボランティアの会(学校支援地域本部)を機能的・実践的にしていくために、山田中らしい郷土の偉人の精神を受け継いだボランティア組織など、学校をさらに支援する体制づくりを推進するとともに、地域の方々の姿を見ることにより生徒のボランティア意識を高めている。そのために、地域コーディネーター部、学校支援部、学校評価部を組織し、さらにPTA組織や校務分掌も融合させている。
- 各活動が機能するために、特に総合的な学習の時間における具体的な活動の系統性・連続性を持たせ取り組んでいる。
- 多くの方々の支援をいただくために、地域のネットワークづくりを推進している。そのためにコミュニティ・スクールだより等を活用し啓発している。さらに、市及び地区における社会福祉協議会との連携を強め、多くの支援ができるような手立てを講じている。



高齢者福祉訪問

## 事業を実施して

- 学校支援ボランティアの会の発足により、保護者や地域住民の、学校との連携や学校への支援に対する認識が深まり、保護者・地域住民による「福祉体験活動・福祉施設訪問・職場体験学習・ボランティア活動」などの活動が、学校への支援活動としてより活性化してきている。
- 学校支援ボランティアの会の発足により、学校職員の意識が高まり、地域への行事参加など、地域への参加・協力を意識した取組がなされるようになってきている。また、地域の方にボランティアで学校に来てもらうことにより、生徒のボランティアへの意識も高まりつつある。



山田地区かかし笑劇団への参加

## その他

- 平成25年11月に、コミュニティ・スクールモデル校として研究公開を行った。研究公開の中で、教職員とボランティアの会員と一体化した授業及び活動の実践発表を行った。